

(様式5)

**目標達成計画**

事業所名 グループホーム わたぼうし

作成日: 平成 22 年 3 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |   |   |  |            |
|----------|------|---|---|--|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題  | 目標  | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容   | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 13   | 併設老健と提携し、避難訓練を行っているが、敷地や施設の面で避難経路についての問題を抱えており、できる範囲での対策が望まれる。            | 特に一人勤務のときの火災発生時に少しでも冷静に対応し、初期消火等で最小限の被害の中救出できるように訓練をし、防災意識を高める。 | わたぼうし独自の避難訓練を行い、不安要素を取り上げ改善していく。地区の消防分団長にも参加してもらい、専門的な指示を受ける。初期消火に有効な小型消火器もさらに増やし設置する。スプリンクラー設置への働きかけ。 | 12ヶ月       |
| 2        | 3    | 運営推進会議のあり方を工夫して地域の方の協力を得、年6回開催することが望まれる。                                  | 年6回開催し地域との交流を深める。年最低1回は地区の消防分団長に参加してもらい、消防関係の方にもわたぼうしの知名度を高める。  | 最初の4月は1週間くらいのうちで都合のよい日に開催し、見学して様子を見てもらう。6月からは偶数月の第3木曜日に定期的開催し、合計年6回とする。                                | 12ヶ月       |
| 3        | 18   | 周りの環境に恵まれていないことがネックとなり、外出する機会が少ないので、隣接の老健や地域との連携をさらに進め、外出の支援をしていくことが望まれる。 | 家族が求めている外出支援の内容を知る。現状の範囲で対応ができるならば対応していく。                       | まずは、わたぼうし便りなどに現状を掲載し、外出できるためのよいアイデアを呼びかける。短時間の散歩など意識的に時間をつくりだす。4月6日併設の老健とともに花見に行く予定。                   | 6ヶ月        |
| 4        |      |   |   |  | ヶ月         |
| 5        |      |   |   |  | ヶ月         |

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。